

【福島県合同輸血療法委員会】

輸血に関するアンケート調査集計結果（2018年）【2019年9月13日時点】

診療所版

1 調査対象施設等

- (1) 調査対象施設：県内の診療所50施設
- (2) 調査対象期間：2018年1月から12月まで
- (3) 調査方法：アンケートへの依頼文書を郵送で送付し、福島県薬務課のホームページよりファイル（Excel形式）でダウンロードし、記入したファイルをメールに添付した形で回収した。対応が困難な場合は、FAX等で回収した。
- (4) 回収率：38.0%（19診療所から回答）

2 集計結果の概要（項目別）

◎集計結果の報告書を作成するにあたり、病院名等を公開してよいか

可：7診療所（36.8%）

I 輸血管管理料取得状況について

取得医療施設なし

II I & A取得状況について

取得予定なし：17診療所、無回答：2診療所

III 輸血療法委員会等について

(1) 輸血療法委員会等の設置数

1診療所（5.2%）

(2) 輸血療法委員会を設置しない理由（複数回答あり）

18診療所（94.7%）

（使用がほとんどない：7、他の委員会で協議：6、指導医がない：4、その他：1）

(3) 輸血療法委員長の職種

医師（専門科目：泌尿器科：1）

(4) 輸血療法委員会の開催回数（回/年）

12回/年：1

(5) -1 県内認定臨床輸血看護師、アフェレーシスナース、自己血輸血看護師、認定輸血検査技師人数（合計）

該当医療施設なし

(6) -2 輸血療法委員会参加人数（医療施設数/輸血療法委員会有1施設）

医師	1名	} 合計6名
看護師	4名	
事務	1名	

IV 指針等について

(1) 輸血部門の設置数等（複数回答あり）

輸血部門：4 診療所（21.1%）

{ 検査部 2 件
看護部 1 件

血液製剤保管場所（複数回答あり）

{ 検査部 5 件
薬剤部 2 件
看護部 2 件
透析室 2 件
その他 8 件

(2) 自記温度計、警報装置の設置数等（複数回答あり）

自記温度計：2 診療所（10.5%）

記録の頻度 { 毎日 5 件
週 1 回 2 件
未回答 12 件

警報装置：6 診療所（31.6%）

冷蔵庫・冷凍庫の保守点検の頻度 { 毎日 5 件、年に 1 回 3 件、半年に 1 回 3 件、月に 1 回 2 件、
週に 1 回 1 件、その他 2 件、未回答 3 件

(3) 他の管理項目等

1) 運搬容器の設置：4 診療所（21.1%）

2) 輸血用血液製剤と血漿分画製剤の管理の一元化：5 診療所（26.3%）

3) 管理記録簿等：18 診療所（94.7%）

内訳（複数回答有）

手書き伝票：16、両方：1、コンピュータ管理：1、その他：1

(4) 感染症検査用検体の保管等

1 診療所（5.3%）

(5) 輸血前後の感染症検査の実施

輸血前後両方 6、輸血前のみ 3、輸血後のみ 1、行っていない 9

V 輸血用血液製剤使用状況について

全血液製剤使用単位数合計 540 単位

(1) 赤血球製剤の使用量は 474 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、87.8%である。

(2) 血小板製剤の使用量は 66 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、12.2%である。

(3) 血しょう製剤の使用量は 0 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は 0%である。

VI 輸血用血液製剤廃棄状況について

全血液製剤廃棄単位数合計 33 単位

全血液製剤の廃棄率は 5.8%である。

(1) 赤血球製剤の廃棄量は 33 単位。

(2) 血小板製剤の廃棄量は 0 単位。

(3) 血しょう製剤の廃棄量は 0 単位。

○輸血用血液製剤の在庫状況

輸血用血液製剤在庫有 0 診療所

VII (1) 年代別及び男女別輸血状況について

輸血患者総数 96人

90歳以上	13人 (13.5%)
80-89歳	27人 (28.1%)
70-79歳	25人 (26.0%)
60-69歳	19人 (19.8%)
50-59歳	3人 (3.1%)
40-49歳	2人 (2.1%)
30-39歳	6人 (6.3%)
20-29歳	1人 (1.0%)
10-19歳	0人 (0.0%)
5-9歳	0人 (0.0%)
0-9歳	0人 (0.0%)
男性	46人 (47.9%)
女性	50人 (52.1%)

VIII (1) 診療科別輸血状況 (回答医療施設数: 15)

内科全体数 71人

消化器内科:	2人
循環器内科:	1人
呼吸器内科:	0人
血液内科:	0人
その他内科:	68人

外科全体数 2人

消化器外科:	0人
呼吸器外科:	0人
心臓血管外科:	0人
形成外科:	0人
整形外科:	0人
脳神経外科:	0人
その他外科:	2人

その他診療科全体数 22人

小児科:	0人
産婦人科:	1人
泌尿器科:	11人
麻酔・集中治療科:	0人
その他:	10人

IX 自己血輸血について

自己血輸血実施診療所：1 診療所（5. 3%）

○貯血式自己血輸血（液状保存）

実施症例件数（同種血併用例）：2 例（0 例）

採血量（貯血量）：3 単位

使用量（輸血量）：3 単位

○貯血式自己血輸血（凍結保存）

実施症例数（同種血併用例）：0 例（0 例）

○回収式自己血輸血

実施症例数：0 例

使用量の管理部門での把握：

はい	0 診療所
いいえ	5 診療所
その他で管理	0 診療所
未回答	1 4 診療所

○希釈式自己血輸血

実施症例数：0 例

使用量の管理部門での把握

はい	0 診療所
いいえ	5 診療所
未回答	1 4 診療所

X 血漿分画製剤使用状況について

アルブミン製剤合計：7 2 7. 5 g

フィブリノゲン製剤合計：0. 5 g

X I 外来輸血及び在宅輸血について

(1) 外来輸血または在宅輸血実施

外来輸血	1 0 診療所
在宅輸血	2 診療所
どちらも実施なし	7 診療所
未回答	2 診療所

(2) 外来輸血後の患者観察

医療関係者	3 診療所
患者家族	0 診療所
医療関係者・ 患者家族	5 診療所

(3) 在宅輸血時の患者観察

医療関係者	1 診療所
医療関係者・ 患者家族	1 診療所

(4) 外来輸血または在宅輸血を実施している患者の主な診療科

血液内科	0 件
消化器内科	0 件
循環器内科	1 件
その他	9 件（透析科 7 件・他内科 2 件）

- (5) 疾患名・人数
- | | |
|-------|------------|
| 血液疾患 | : 0件 |
| 腎疾患 | : 5件 (30人) |
| 悪性腫瘍 | : 1件 (1人) |
| 消化管出血 | : 2件 (8人) |
| その他 | : 3件 (23人) |
- (6) 使用されている製剤の種類
- | | |
|--------|---------|
| 赤血球製剤 | : 308単位 |
| 凍結血漿製剤 | : 0単位 |
| 血小板製剤 | : 0単位 |
- (7) 実施中または実施後の有害事象発生: 0診療所
- (8) 外来輸血に対応した有害事象発生時のマニュアル: 5診療所 (26.3%)
- (9) 外来輸血実施後の院内での休憩時間
- | | | |
|---|------------|------|
| { | 30分未満 | 2診療所 |
| | 30分以上1時間未満 | 5診療所 |
| | 1時間以上2時間未満 | 2診療所 |
| | 2時間以上 | 1診療所 |
- (10) 外来輸血が必要とされる患者の紹介先が予め決まっている: 7診療所 (36.8%)
- (11) 輸血のみを診療目的とする患者の受入: 0診療所

XII 製剤別購入量・廃棄量について

- (1) 赤血球製剤の購入量は 507単位、廃棄量は 33単位、廃棄率は6.5%。
- (2) 血小板製剤の購入量は 0単位、廃棄量は 0単位、廃棄率は0%。
- (3) 血しょう製剤の購入量は 0単位、廃棄量は 0単位、廃棄率は0%